

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

| | |
|-------------------------|--|
| 会 議 の 名 称 | 第4回吉川市健康増進計画案策定委員会 |
| 開 催 日 時 | 平成25年2月20日(水) 午後 1時30分から 午後 2時30分まで |
| 開 催 場 所 | 吉川市保健センター 診察室 |
| 出席委員(者)氏名 | 菅谷弘子委員長、森田京子副委員長、後藤直子委員、 村上 昇委員、松井敏子委員、菊地 徹委員、会田久雄委員 |
| 欠席委員(者)氏名 | 林 芳男委員、伊東 孝委員 |
| 担当課職員職氏名 | 健康増進課 課長 岡田 誠 健康増進課 健康増進係長 中村久美 健康増進課 健康増進係 稲見絹子 健康増進課 健康増進係 菅原 歩 健康増進課 健康増進係 加藤志帆 |
| 会議次第と会議の公開又は非公開の別 | 1. パブリックコメントの結果について (公開) 2. 第2次健康増進計画案について 2. その他 (公開) |
| 非公開の理由 (会議を非公開にした場合) | |
| 傍聴者の数 | 0人 |
| 会議資料の名称 | 1. 第4回吉川市健康増進計画案策定委員会会議資料 第二次吉川市健康増進計画 (案) |
| 会議録の作成方法 | <input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録 |
| 会議録確認指定者 | 森田京子副委員長、 会田久雄委員 |

| | |
|--|--|
| その他の必要事項 | |
| 審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等) | |
| <p>事務局 開会</p> <p>菅谷委員長あいさつ 最後の委員会。当初の事務局スケジュール計画どおりに進化した。事務局のパワーと、課長の進行管理に加え、各委員の協力体制が良かったからこそである。今日の委員会で、更により良い計画に推敲していけるとよい。</p> <p>事務局 設置要綱第5条の規定により議事の進行を委員長にお願いする。</p> <p>菅谷委員長 議事に入る前に森田副委員長、会田委員を議事録署名委員に指名する。</p> <p>議事</p> <p>(1) パブリックコメントの結果について (事務局) 菅谷委員長</p> <p>(2) 第2次吉川市健康増進計画案について (事務局)</p> | <p>本会議は委員定数が9名で、7名出席しているので有効に成立している。</p> <p>最後の委員会。当初の事務局スケジュール計画どおりに進化した。事務局のパワーと、課長の進行管理に加え、各委員の協力体制が良かったからこそである。今日の委員会で、更により良い計画に推敲していけるとよい。</p> <p>設置要綱第5条の規定により議事の進行を委員長にお願いする。</p> <p>議事に入る前に森田副委員長、会田委員を議事録署名委員に指名する。</p> <p>1月19日から2月18日までパブリックコメントを実施した。郵送、メール、公共施設8か所に意見箱を設置し募ったが、意見はなかった。</p> <p>ということは、市にお任せするという事でよいのか。ホームページにも載っていたが、市民は見てくれたけれど、意見までは出て来なかったのかもしれない。</p> <p>前回委員会で出された意見に対し、変更した点の前後を比較する形で示した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙の「二次」を「2次」に変更。 ・図、表の表記を、章ごとに続き番号で記載。 ・P14図3を、認定者数と原因疾患に分け、原因疾患を図4として追加。 ・P15後期高齢者医療の分析部分、医療費への対策として、「重症化予防が可能な生活習慣病については」を追加する。 ・P15国保の状況、一般と退職には分けて、「一般は国・県と比 |

| | |
|-----------------------|---|
| | <p>較して低くなっている」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージ別の体系案で、該当する期間を矢印で標記や、色分けしたらどうかと意見があったが、その方が見づらくなるし、該当する部分を区切るのが難しいので、変更なくそのままとした。 ・P25表5目標値、国ではその割合に設定していると、文中で説明する。 ・P26対策が既存か新規かわかりやすくという件、新たに何をするというよりも、現状で行っていることを推進していくというものが多いので、記載に変更なし。 ・P42委員長が、吉川市はCKDの取り組みをしているから入れた方がよいというご指摘、糖尿病についてのページで、CKDについて追記した。 ・P60ロコモティブシンドロームの定義、誤植の訂正と、読み返したら読みにくく感じたので、説明内容を変更する。 |
| <p>菊地委員 菅谷委員長</p> | <p>運動器の「障害」は人を指す場合とは異なるので、漢字でよい。診療ガイドからの出典ではなく、わかりやすく説明したものに変わったということ。</p> |
| <p>事務局</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・P60高齢者の健康目標、介護予防事業への参加者数の増加とする。 ・P61こころの健康、睡眠やストレスについての記載ではなく、自殺対策を主とした記載にした。それと、対策も揃えて、自殺予防を推進していくゲートキーパーの養成にした。 ・P63地域社会の健康づくり、目標に向かう主語を実施者側とし、地域組織に向けた健康教育開催の増加とした。 <p>最後のあたりは大きく変更した。</p> |
| <p>委員長</p> | <p>変更点について、その他について意見、質問は。</p> <p>P17、出生の、人口千対パーミルという単位はあまり見ないが、そういうものなのか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>パーミル自体は、生活保護などの人口に対する場合は使われ</p> |

| | |
|-------|--|
| | <p>る場合がある。千対、パーセントまでいかない単位。</p> |
| 菊地委員 | <p>もし使うなら、注釈を付けるか。</p> |
| 菅谷委員長 | <p>生保は、対する人口がいくつであるのかまちまちだから使われるのかもしれない。日本の今の出生率を比較するときは千対と決まっているので、単位を消してもよいのではないか。「国民衛生の動向」などを見ても、人口を千対いくつ、と言い切っている。</p> |
| 事務局 | <p>パーセントと間違わないために記載したが、パーミルは消させていただく。</p> |
| 菅谷委員長 | <p>これを印刷にかけるので、体裁についても意見をもらった方がよい。住民が見てわかりにくいところなどは。</p> <p>P17グラフ凡例、字が小さく見にくい。</p> <p>P18表が大きすぎる。</p> |
| 菊地委員 | <p>全体の字の大きさが小さいのではないか。大きくすると全体にずれて修正が困難となるか。</p> |
| 事務局 | <p>字体を変えるのは困難。このままでご了承願いたい。</p> |
| 菅谷委員長 | <p>カラーか、白黒かはいかがか。</p> |
| 事務局 | <p>費用面の関係で白黒になると思う。</p> |
| 後藤委員 | <p>県のパブコメでは、高次脳機能障害のコメントが多く、かなり変更しているようだが、特にこの計画には意見はないか。障がい者計画の方へ反映しているのかもしれない。</p> |
| 菅谷委員長 | <p>P45表1、以前より小さくなり、見にくい。ページいっぱいに入れてはどうか。</p> |
| 後藤委員 | <p>確かにいい表なので勿体ない。</p> |
| 松井委員 | <p>ページを跨ぐものが見にくい。操作も容易でないかもしれないが、資料を横にするなど工夫できるのではないか。</p> <p>P4、3行目の（ ）後に「を」を入れた方がよい。</p> <p>P50、身体活動・運動について、市のプールが深く、水中ウォーキングしづらい。歩くことを目的にする人も多く、何人かから意見を聞いた。テニスコートはパソコン予約である。卓球</p> |

| | |
|-------|--|
| | <p>は5人以上で予約できる。台が2台あればよいはずだし、余っているにも関わらず、団体でなければ使用できないシステムになっている。台数申込などの方がよい。市外のプールは歩きやすく、そちらを利用する人も多い。せっかく市にあるのに勿体ない。担当の部署へ意見したが、‘決まりだから’とのこと。ここへ入れ込むのは難しいかもしれないが、運動しようと思ったときにすぐ出来るような、市民が使いやすい体制を望む。</p> |
| 菅谷委員長 | <p>こういう情報こそ、市が欲しいと思う。主管は教育委員会か。今のはまさに環境整備のヘルスプロモーションで、行政がやらなくてはならないところ。こうした意見を主管課に伝えてもらう。</p> |
| 後藤委員 | <p>心の健康は、この目標を入れて頂いてありがたい。先日、自殺対策を実践している団体に依頼した講習に吉川市からも参加して頂いた。保健センターで単独では難しいかと思うが、保健所と一緒に、ゲートキーパーの次の段階を考えて頂ければと思う。東京などで先進的な取り組みがある。市長を巻きこむと、全市内の関係機関がやらざるを得ない状態になるというところがよいと思った。</p> |
| 後藤委員 | <p>施設を利用しようと思った時、中国や台湾などへ行くと、公園で皆が踊っていたり、健康器具が設置してあったりして利用している。そちらは施設を作ることが困難だからかもしれないが、そんな取り組みからも色々な関係団体に広がっていくなど、色々な形の運動の仕方が出てくるかもしれない。</p> |
| 松井委員 | <p>外で皆で集まってやっている。なぜ？と聞いたら、定年が50～55歳、保険がないから、家族に負担をかけまいと。病気になったら大変なことになるからと。</p> <p>音楽をかけて群がって、歌ったり踊っていたりする。ほうきのように大きな筆に水をつけて道路に文字を書くなど。誰に何を言われなくとも、それぞれやっている。日本では〇〇教室などでないと、なかなか見かけない。</p> |

| | |
|-------|--|
| 後藤委員 | 逆に日本は、何人集まった地区には公園を作らなければならないと決まっているから、スペースはあるはず。そこで、成人向けの器具を設置するなどあるといいかと思う。 |
| 菅谷委員長 | 吉川では、特徴的な公園として、ローラースケートが出来るところがあると聞いているが。 |
| 村上委員 | 貯水池であるが、晴天の時は開放して、使ってもらおう。 |
| 松井委員 | 江戸川に、野球など出来る広場もある。 |
| 菅谷委員長 | 健康日本21では、確かに公園などの担当部署も一緒になってやっっていこうとある。これをチャンスにして。いきいき推進課では、なまらん体操を普及している。 |
| | その他資料編が付いている。これで良いか。食事バランスガイドを資料編に、という意見もあったが。 |
| 事務局 | いくつか資料として差し込めるものが揃ったらそれもよいと思ったが、これだけなので、文章と合わせて見て頂くためにも、そのままの位置に置いた。 |
| 菅谷委員長 | 全部で74ページ。 |
| 松井委員 | これはどの範囲に配られるのか。今まで見たことがなかったので。 |
| 事務局 | 関係機関などに配る予定。 |
| 松井委員 | 公民館や地区センターか。 |
| 事務局 | 公共機関にも置いたことはない。実際手に取れるような場所にはなった。 |
| 菅谷委員長 | 図書館などが良いか。 |
| 後藤委員 | 広報などには作成したことを載せるのか。概要などについて。 |
| 事務局 | ホームページには載せる予定である。 |
| 松井委員 | もともと市民向けではないものか。 |
| 菅谷委員長 | こういう計画が出来ているということを市民に知らせなくてはならないし、この目標に向けて、一生懸命保健センターだけががんばっていても市民のレベルは上がっていかない。せっかく自分たちでここまで作り上げたのですから。 |

| | |
|-------|---|
| 事務局 | <p>対策も、主語がこちらになっていて‘何をする’となっているが、地区活動する中で、一部抜粋して皆で考えよう、と提示すると意見活発に盛り上がる。手刷りで、見やすい資料に作り変えて、ねらったテーマに合わせて活用していきたいと思っている。</p> |
| 菅谷委員長 | <p>ぜひそれはお願いしたい。市ではこういう計画を立てているよ、私たちだけではなく、市民皆でやっていくのだということ普及してもらおう。それには図書館に設置だけではなく、広報で特集を組んでもらうなどはできないか。</p> |
| 松井委員 | <p>食改活動でも、実施してもらって大変勉強になった。出来る場面で、私たち市民にも伝えて頂きたい。</p> |
| 菅谷委員長 | <p>自治会向けにもぜひお願いしたい。</p> |
| 村上委員 | <p>現実的に、日曜日に講座を開いてもらった。地域で皆が集まる時に講座を開いてもらい、健康の大切さをわかってもらうというのは大事である。</p> |
| 菅谷委員長 | <p>地域の人はどうなてもどうぞ、というスタイルなのか。</p> |
| 村上委員 | <p>健康講座だと高齢者は関心が高く集まってもらえる。そこからコミュニケーションに広がって、引きこもりの方も外に出ることができたらいいし。回数などは地区それぞれ良い。なまりん体操などと一緒になって、地区で取り入れていきたい。</p> |
| 事務局 | <p>どなたも参加できる、というスタイルがありがたいが、なかなか若い方に出会うことが少なく、なるべく早い段階から取り組みを進めたいと思うけれど、これをきっかけにし、色々な広がりが出てくるとよいと思う。</p> |
| 菅谷委員長 | <p>P27「どれほどの値」の言い回しが気になる。「どれくらいの値」の方ではないか。</p> |
| 松井委員 | <p>「どの程度の値」であればどうか。</p> |
| 後藤委員 | <p>「治療を開始する値」とまとめてはどうか。</p> |
| 菅谷委員長 | <p>いろいろな意見が出たので検討して頂くことで。 では、推進計画案についての議事を終わりにする。</p> |

| | |
|---|--|
| <p>事務局</p> <p>菅谷委員長</p> <p>事務局</p> <p>閉会（森田副委員長）</p> | <p>次、（3）その他について事務局からどうか。</p> <p>これからのスケジュールについて。本日が最後の策定委員会。今をもって、案としてお示し頂いた。これを市長に報告し、決裁をもって製本させて頂く。年度末には各機関に配布させて頂く。表紙の裏には、写真入りで市長のあいさつを載せる予定。</p> <p>関係機関への配布は年度内か、4月に入ってからか。</p> <p>印刷の工程も未契約でありいずれにしても微妙なところかと思う。製品納入が3月31日までなので、新年度早々かもしれない。</p> <p>委員の皆様には、4回にわたりご多用なところご審議を頂き、改めて御礼を申し上げます。おかげ様で案が出来上がり、大変ありがとうございました。</p> <p>皆様、お忙しいところ、大変ありがとうございました。吉川市には、全国トップレベルにある早世と、埼玉県で上位にあるメタボリックシンドロームなど、他人事ではない。愛育会、食改、自治会と私たちが手をつないで、一人一人が健康チェック、健康診断を受けて頂くよう、呼びかけていきたいと思う。</p> <p>これにて第4回吉川市健康増進計画案策定委員会を終了する。</p> |
| <p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>平成25年3月13日</p> <p>署名委員 森田 京子</p> <p>署名委員 会田 久雄</p> | |